

うきは市立大石小学校 学校だより

「校宝の松」



「玄
関にある
校宝の松」

令和6年4月25日

発行者 校長 古賀 光成

新1年生9名を迎え、全校で107名となり、令和6年度がスタートしました。校内には子供たちの笑顔と明るい声があふれています。



今回の異動により、大石小学校に着任しました校長の古賀光成と申します。令和元年度から2年間お世話になっていましたので、とても懐かしく感じるとともに、5・6年生の成長ぶりに驚いています。また、あいさつや長縄の伝統はしっかり受け継がれているなど感じました。子供たちに「知・徳・体」の生きる力をつけるため、教職員全員で力を合わせて精一杯頑張ります。どうぞよろしくお願いいたします。

本年度の重点目標は「目標に向かってチャレンジし続け、よさを発揮する子どもの育成」です。学校行事や日々の生活の中で、自分なりの目標に向かって粘り強く取り組み、小さな成功体験を積み重ねて、達成感・充実感を味わい、少しずつ自分に自信を持てるようになってほしいと思います。その取組の中で、自分の強みや弱み、得意なことなどへの理解を深め、自己のよさを発揮できる子に育ててほしいと願っています。また、合言葉を「進んであいさつ 何度でもチャレンジ!」としています。あいさつは人間関係づくりの基本です。「おはようございます」から、さわやかな一日をスタートさせたいものです。「何度でもチャレンジ」には、一度失敗したくらいであきらめたり、失敗を恐れてチャレンジすることをやめてしまったりすることなく、「失敗しても、もう一度（何度でも）やり直せばいいんだ」というメッセージを込めています。

入学おめでとうございます

1年生が入学して2週間になりました。みんな毎日元気に登校しています。昨日、生活科で学校探検をしていましたが、校長室に来た子供たちは、見えるものすべてに興味を持ち、「これ何ですか。」と目をキラキラさせて聞いてきました。この好奇心を学ぶ意欲につなげていくのが学校の役割なのだ改めて思いました。



毎日の登下校や学校生活の様々な場面で、6年生を中心に上級生の皆さんがお世話を進んでしてくれるので、1年生は安心して、学校生活を送っているようです。



新1年生を迎える会では、自己紹介の中で自分の好きなものを大きな声で発表できました。「貨物列車」や「猛獣狩り」のゲームは大いに盛り上がり、みんなの距離がぐっと近くなったようでした。遠足では、手をつないで歩いてもらったり、学団遊びをしたり、とても楽しい一日になりました。3月から総務委員会が中心となって準備していました。ゲーム中も困っている人がいないか見守り、様々なところで声をかけている姿はとても頼もしく、学校を動かすリーダーの姿を見せてくれました。本当にありがとうございました。

